

県内経済の動き

概況

〔2025年12月～2026年2月の動き〕

一部指標に弱めの動きがみられる

鉱工業生産指数（12月）は2カ月連続で前月比低下、通関輸出額（1月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は2カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は8カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（1月）は4カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（1月）は前月比横ばいの1.15倍で、2月の企業倒産は前月比3件増の5件、負債総額は同3億32百万円増の3億62百万円となった。

県内経済は緩やかな回復が続いているが、住宅投資など一部の指標に弱めの動きもみられる。混迷を極める中東情勢の県内経済への影響が懸念される。